

教科	農業	科目	畜産	単位数	2 単位	学年	2 年	コース	全
使用教科書		畜産(実教出版)		使用副教材等		ワークシート、視聴覚教材、実習記録簿			

目標	農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、家畜の飼育と畜産経営に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。		
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	家畜の飼育と畜産経営について体系的・系統的に理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。	家畜の飼育と畜産経営に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。	家畜の飼育と畜産経営について生産性や品質の向上が経営発展へつながるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査</li> <li>農業鑑定競技</li> <li>小テスト</li> <li>実習技能の習得</li> <li>実習記録簿</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査</li> <li>ワークシート</li> <li>実習状況の観察</li> <li>実習記録簿</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワークシート</li> <li>実習・授業の様子</li> <li>実習記録簿の内容</li> <li>農業作文</li> </ul>

担当者からのメッセージ	<ul style="list-style-type: none"> <li>座学と実習とのつながりを意識して授業に取り組んでください。</li> <li>実習では、特に時間厳守を意識し、服装や身だしなみを正しく整えて授業に臨むようにしてください。</li> <li>また、自ら行動し(自主性)、仲間と協力して(協働)、最後まで集中して(責任感)取り組むようにしてください。</li> <li>実習で学んだ内容は、実習記録簿に詳しく記入し、期限を守って提出することを心掛けてください。</li> </ul>
-------------	---

学期	月	学習内容 学習のねらい	観点別評価規準
1	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>○オリエンテーション</li> <li>・授業の進め方や実習に関する諸注意、評価の仕方などを理解する。</li> </ul>	※(知)知識・技能、(思)思考・判断・表現、(態)主体的に学習に取り組む態度
	1 4 5 7	<ul style="list-style-type: none"> <li>第4章 家畜の飼育</li> <li>2 養豚</li> <li>①ブタの特性</li> <li>②ブタの品種と選び方</li> <li>③養豚の施設・設備とその利用</li> <li>⑩ブタの実習・実験・観察</li> <li>・講義と授業内での実習、更に総合実習Ⅰを並行し、ブタの飼養管理について交配・出産～肥育～出荷までの肉豚飼育に取り組み、養豚の実際について体験しながら学び理解を深める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ブタの特性について理解できているか。(知)</li> <li>・ブタの主要品種とその特徴について理解できているか。(知)</li> <li>・雑種強勢の仕組みとその利点について理解できているか。三元交雑の作出について、実習を通してその実態を理解できているか。(知・思)</li> <li>・養豚施設・設備の種類と、その特徴を把握し、利用方法について理解できているか。(知)</li> <li>・ブタの飼育管理の概要について学び、得た知識を飼育管理実習に活かすことができているか。(知・思)</li> <li>・意欲を持って飼育管理実習に取り組み、責任を持って自らの役割を果たせているか。(思・態)</li> </ul>
2	9 1 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>④ブタの繁殖</li> <li>⑤子豚の育成</li> <li>⑥肉豚の肥育</li> <li>⑦豚肉の流通</li> <li>⑧ブタの病気と予防衛生</li> <li>・養豚経営について、繁殖から、子豚の育成、肉豚の肥育については講義と実習を通して総合的に体験しながら理解を深める。</li> <li>・出荷～流過程と、病気と予防衛生については講義中心になるが、タブレットを活用しながら、課題点も含めて今後在るべき養豚の姿について考えてみる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・養豚経営について、繁殖～飼養管理を含めて経営全般について理解することができているか。(知)</li> <li>・子豚の育成について、去勢など技術的側面については実習体験を通して体験的に学びながら身に付けることができているか。(知・思・態)</li> <li>・法定伝染病を中心に、主要な病気とその予防法について理解することができているか。(知)</li> <li>・ブタ(豚肉)の流通について、疑問点などの課題をタブレット等を活用し、自ら調べ解決することができているか。(思・態)</li> </ul>
	3 1 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>⑨養豚の経営</li> <li>第3章 家畜と飼料</li> <li>②家畜の消化器官と飼料の消化・吸収</li> <li>・ブタの消化・吸収</li> <li>③飼料の特性と給与</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本における養豚経営の主な課題と、その解決策について考えることができ、今後在るべき養豚の姿について考察を深めることができているか。(思・態)</li> <li>・ブタの消化器官について理解し、得た知識を実習における飼養管理に活かすことができているか。(知・思)</li> </ul>